

第 5 次福島町総合計画基本計画
(主要施策) の進捗状況

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況一覧

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

位置づけられるまちづくり項目	進捗状況 (%)				
	◎	○	△	▼	×
1 水産業・水産加工業	20.0	56.7	23.3	0.0	0.0
2 農業	0.0	70.0	30.0	0.0	0.0
3 林業	0.0	91.7	8.3	0.0	0.0
4 商工業、地場産品	16.7	41.7	33.3	0.0	8.3
5 観光・交流	0.0	90.5	9.5	0.0	0.0
6 産業創造と雇用労働対策	18.2	72.7	9.1	0.0	0.0

第2章 町民の安全安心な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

位置づけられるまちづくり項目	進捗状況 (%)				
	◎	○	△	▼	×
1 保健予防、健康づくり	9.1	90.9	0.0	0.0	0.0
2 地域医療	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
3 地域福祉	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4 高齢者の福祉	0.0	62.5	37.5	0.0	0.0
5 障害者の福祉	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
6 生活福祉、社会保障	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

位置づけられるまちづくり項目	進捗状況 (%)				
	◎	○	△	▼	×
1 土地利用	16.7	16.7	66.6	0.0	0.0
2 自然保護、環境共生	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
3 公園・緑地、景観、環境美化	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4 ごみ処理、リサイクル	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
5 水道、排水・し尿処理	16.7	66.6	16.7	0.0	0.0
6 道路網	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
7 公共交通、情報通信	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
8 住宅	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0
9 児童福祉、子育て支援	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0
10 火葬場、墓地	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
11 防災	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
12 消防・救急	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
13 交通安全・防犯	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

位置づけられるまちづくり項目	進捗状況 (%)				
	◎	○	△	▼	×
1 生涯学習（推進体制）	0.0	77.8	22.2	0.0	0.0
2 幼児教育、学校教育	17.4	73.9	8.7	0.0	0.0
3 社会教育、青少年の育成	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4 スポーツ	0.0	92.3	7.7	0.0	0.0
5 芸術文化、文化財	0.0	84.6	15.4	0.0	0.0
6 地域間交流、国際化	0.0	71.4	0.0	0.0	28.6

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動、行財政)

位置づけられるまちづくり項目	進捗状況 (%)				
	◎	○	△	▼	×
1 コミュニティ	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
2 まちづくり活動、女性の参画	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
3 広報・広聴、情報発信	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
4 行政運営	18.7	68.8	12.5	0.0	0.0
5 財政運営	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
6 広域行政	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成（産業・人材育成）

1 水産業・水産加工業

◎「育てる漁業」を中心に、前浜資源を守り育て、定期的に生産できる漁業を目指します。

◎水産物のブランド化や加工品としての利用拡大により、付加価値を高めます。

区分	施策	進捗状況			
		H28実績	H29実績	H30実績	
振興計画	①浜の振興計画を策定する	○	○	◎	
漁場	①継続して植樹会を行う	○	○	○	
	②漁場保全組織の支援、キタムラサキウニの生息密度管理を行う	○	○	○	
漁港	①各漁港の整備を進める	○	○	○	
	②衛生的で高齢者でも作業しやすい環境をめざす	△	△	△	
	③老朽化している岸壁を改修する	△	○	○	
	④製氷、貯氷施設を整備する	○	◎	◎	
漁港関連施設	①横綱ビーチの適切な管理を行う	○	○	○	
	②吉岡漁村センターは耐震調査を行いニーズに即した転用が可能か検討する	△	◎	◎	
	③みなと交流館の活用については、地場産業の振興も視野に対応する	○	○	○	
漁船漁業	①海峡マグロの良さを町内外に積極的にPRする	○	○	○	
栽培型漁業	①養殖施設の整備・改修を行います。	◎	◎	◎	
	②種苗系生産施設整備の支援をします。	△	△	△	
	③深浅移植や種苗中間育成により資源の維持、安定を図る	○	○	○	
	④環境にあった飼育、放流を行い、生産性を高める	○	○	○	
	⑤種苗生産施設の統廃合を検討する	△	△	△	
	⑥アワビ陸上養殖事業の企業化をめざす	○	○	○	
	⑦トラウトサーモンの養殖試験を実施し、事業化に向けたデータの収集を行います。	○	○	○	
加工品、直販、地産地消	①地元で販売できる場所づくりをめざす	○	○	○	
	②コンブ加工施設整備の支援を行う	△	○	○	
	③間引きコンブを活用した加工品を商品化し企業化をめざす	○	○	◎	
漁業振興、担い手育成	①小規模事業者にも利用しやすい支援制度を検討する	◎	◎	◎	
	②無料職業紹介所の積極的利用を促す	△	○	○	
	③担い手育成事業により支援する	○	○	○	
漁業への理解	①水産物を利用した料理教室などを開催する	○	△	△	
水産加工業	①外国人研修生の受け入れ体制の整備、労働者の確保について支援する	○	○	○	
	②産業振興資金貸付金の利用を促進する	○	○	○	
	③インターネット販売の拡充を図る	△	△	△	
	④スルメ製品の食べ方、利用方法を普及し、売り上げの拡大につなげる	△	△	△	
	⑤廃棄物の地域資源としての有効活用を進める	△	△	△	
目標とする指標	①漁業協同組合員数	182人	174人	170	166
	②漁業協同組合取扱金額	17億円	15億円	16億円	15億円
	③コンブ生産量	322 t	195 t	444 t	504 t
	④水産業担い手支援者数(累計)	14人	14人	17人	21人
	⑤水産物ブランド化取組件数	3件	0人	0人	0人
特記事項等					

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

2 農業

◎各作物の収穫量を安定させ、町内消費拡大と町外への販路拡大を図ります。

◎農産物の加工品としての利用をさらに進め、付加価値を高めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
福島版 営農モデルの 確立	①関係団体と連携し、福島版営農モデルの確立に努める	○	○	○
農地・営農の 管理	①新しいシステムを導入し、適切な農地管理への活用を図る	○	○	○
栽培している 作物	①米については、増産や販路拡大に取り組む	△	△	△
	②そばの連鎖障害対策の実施、圃場の基盤整備などの必要な施設の整備を支援する	△	△	△
	③黒米については、生産に必要な農業機械の整備や施設整備を支援する	△	△	△
	④他の作物は農業者と協議しながら、販路の拡大を検討する	○	○	○
鳥獣などの 被害対策	①爆音器については、周辺環境への配慮に努める	○	○	○
	②電子膨張器などに切替等を推進する	○	○	○
	③町委嘱ハンターによる担い手ハンターの育成を支援する	○	○	○
関係組織、 経営安定の 支援	①農協への支援を行いながら、今後の組織のあり方を支援する	○	○	○
	②千軒そば生産会などの農業振興に関する地域の取り組みを支援する	○	○	○
	③農林業担い手育成事業の周知に努める	△	△	△
	④農林業担い手養成事業の期間終了後も引き続き支援を行う	△	△	△
	⑤地域おこし協力隊制度を活用し、担い手対策を行う	○	○	△
	⑥農産物の付加価値向上に向けたPRの取り組みを支援する	○	○	○
地産地消、 農業体験	①朝市の体制強化を検討する	○	○	○
	②福島町の農業や歴史を学べる機会をつくる	○	○	○
加工	①6次化産業を進めるために必要な環境を整備する	○	○	○
	②加工品の普及PRの取り組みを支援する	○	○	○
畜産	①防疫対策を支援する	○	○	○
目標とする 指標	① 専業農家戸数 8戸	9戸	8戸	8戸
	② 経営耕地面積 125ha	125ha	125ha	125ha
	③ 米収穫量 87 t	87 t	87 t	82 t
	④ 農林業担い手支援者数 1人	1人	2人	1人
	⑤ 農産物加工品総件数 9件	9件	9件	9件
	⑥ 有害鳥獣駆除従事者数 3人	4人	4人	4人
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

3 林業

◎適切な管理体制の継続に努めながら、森林資源を適正に管理していきます。

◎木材の活用や特用林産物の進行により、所得の安定、向上を図ります。

区分	施策	進捗状況			
		H28実績	H29実績	H30実績	
民有林	①効率的な森林整備を推進する	△	△	○	
	②町の上乗せ補助により助成比率を高め森林整備を促進する	○	○	○	
	③木材の有効活用をめざすとともに、町有林の適正管理に努める	○	○	○	
林道・作業道	①林道の維持補修整備や作業道の整備に努める	○	○	○	
森林組合、経営安定の支援	①森林所有者の経営意欲の向上を促進する	○	○	○	
	②森林組合の健全経営に向け、指導を実施し、経営基盤の充実や経営の効率化に向けた取り組みを支援する	○	○	○	
木材の販売、活用	①公共施設への地域材の活用を促進する	○	○	○	
	②路網整備を推進するとともに、製材業者の育成・確保と地場消費を促進する補助制度を検討する	△	△	△	
特用林産物	①原木シイタケのブランド化をはかり経営安定をめざす	○	○	○	
	②担い手新規就労者確保の取り組みに対して支援する	○	○	○	
	③ほだ木用原木の安定的な供給の要請を検討する	○	○	○	
	④生産施設の整備を支援する	○	○	○	
目標とする指標	①林業専用道の整備延長	8,383m	9,203m	8,903m	9,473m
	②森林整備面積	17ha	12ha	12ha	19.7ha
	③原木シイタケ生産量	8 t	9.4 t	9.4 t	9.9 t
特記事項等					

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

4 商工業、地場産品

◎商工業者の所得向上に向けた取り組みを支援します。

◎町民にとって、最も身近で利用しやすい商業環境づくりを促進します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
商工会組織の支援	①町内商工業の経営改善の推進をする	△	△	△
	②イベントを実施し、商店街の振興を促進する	○	○	○
	③小規模企業の振興に関する条例の制定に関して取り組む	△	◎	◎
経営安定の支援、販売の促進	①町内商工業者がより利用しやすい融資に努める	○	○	○
	②町内での消費拡大を促進する	○	○	○
	③福島町企業振興条例を周知し利用を促進する	○	×	×
	④地元企業を応援するあらたな条例の制定に取り組む	○	◎	◎
地場産品 (生産、販売)	①観光分野との統合をした新たな団体づくりを検討する	△	△	△
	②物産展等への参加をする	○	○	○
	③新製品開発に向けて団体等の協議を推進する	△	△	△
	④特産品のPRを行う	○	○	○
	⑤新たな売場やインターネットでの販売拡大を促進する	△	△	△
目標とする指標	①商工業者数 216戸	220	211	202
	②商店街を利用したイベントの年間開催数 3回	3回	3回	2回
	③物産展等への年間参加回数 4回	3回	3回	4回
	④物産展等への年間参加事業者数 1社	1社	1社	1社
	⑤商工会への補助事業件数 2件	2件	2件	2件
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

5 観光・交流

- ◎「横綱の里」や町内の観光資源を積極的にPRし、町内への観光や立ち寄りを増やします。
◎観光資源のさらなる魅力化や新たな観光資源づくりにより来訪者の満足度を高め、集客や滞在の長期化、リピーターを増やします。

区分	施策	進捗状況			
		H28実績	H29実績	H30実績	
関係組織、 推進体制	①観光協会の組織体制を見直し、NPO法人等を立ち上げの協議を行いより観光振興が図られる組織づくりを進める	○	△	△	
	②観光推進組織の強化を図る	○	○	○	
	③西部4町と広域観光に関する取り組みを推進する	○	○	○	
	④新幹線木古内駅活用推進協議会での取り組みを推進する	○	○	○	
	⑤青函デスティネーションキャンペーンでの取り組みを推進する	○	○	○	
広報・PR、 観光スポット の誘導	①イベント、観光、名所、旧跡をPRする看板等を整備する	○	○	○	
	②町の魅力を伝えるパンフレットを作成する	○	○	○	
	③多言語標記など海外からの観光客や来訪者へ対応に努める	○	○	○	
	④まちのキャラクターを活用したPRを行う	○	○	○	
自然や景観 などの 観光スポット	①トンネルメモリアルパークの整備や管理を計画的に進める	○	○	○	
	②自然景観など今ある資源を保全し観光振興に結び付けるように努める	○	○	○	
	③景観スポットを友好的に活用したPRを行う	○	○	○	
観光施設	①町内観光施設の整備を計画的に進める	○	○	○	
	②両記念館の入館者数の増に向けた取り組みを行う	○	○	○	
	③観光ガイドの育成やガイドマニュアル等の作成を行う	○	○	○	
	④道の駅の維持・改善に向けた取り組みを行う	△	○	○	
観光メニュー	①観光資源を活かした体験観光づくりを行う	○	○	○	
	②まちのキャラクターとコラボレーションした特産品や地元グルメの開発を行う	△	△	△	
観光企画、 観光イベント	①魅力的なイベント等の企画、開発に努める	○	○	○	
	②横綱の里づくり事業を推進する	○	○	○	
	③相撲指導者を採用し、町内における相撲に関する指導及び相撲合宿の誘致に取り組み交流人口の増加を図る	○	○	○	
目標とする 指標	①観光客の年間入込数	80,000人	74,933人	65,383人	80,176人
	②横綱記念館の入館者数	11,000人	20,680人	13,226人	8,744人
	③青函トンネル記念館の入館者数	10,000人	11,454人	9,076	7,958人
	④観光イベントの年間開催数	12回	12回	13回	8回
特記事項等					

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第1章 産業の再生による雇用の創出・次世代を担うリーダー等の育成(産業・人材育成)

6 産業創造と雇用労働対策

◎既存産業を支える人材育成とともに、地域の資源を活かした産業振興や企業を支援します。

◎本町の魅力をアピールして企業誘致につなげるなど、雇用の拡大をめざします。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
次世代を担うリーダー等の育成	①町民及び事業者全般にわたる人材育成に関する支援を充実する	○	○	○
担い手育成	①担い手の支援や人材育成に繋がる取り組みを行う	○	○	○
産業再生、雇用の拡大・創出	①町内の産業活性化の方向性を定め実践的な取り組みを進める	○	○	○
	②地域資源の有効活用の促進や新たな資源の利用を進める	○	○	○
	③新たに起業する個人・法人や各産業団体の活動に対して支援する	○	○	○
	④福島町総合戦略において、雇用の拡大に向けた施策を設定し進める	○	○	○
	⑤町民主体のNPO法人等の設立に向けて行政も支援体制を整えて積極的に後押しする	○	◎	◎
企業誘致	①進出企業の受け入れを行う体制を整備する	△	△	△
起業の推進	①起業促進を行う体制を整備する	○	○	○
季節労働者	①季節労働者の実態把握とニーズにあった相談体制づくりに努める	○	○	○
	②無料職業紹介所を開設し町内外の求人に対応するとともに労働者を支援する	○	◎	◎
目標とする指標	①産業活性化サポート事業の補助件数 2件	2件 (うち起業1)	1件	1件
	②農林水産業担い手支援者の総数(人)再掲 15人	15人	17人	23人
	③進出企業サポート(件) -件	1件	1件	0件
	④起業件数(件) -件	1件	1件	0件
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第2章 町民の安心安全な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

1 保健予防、健康づくり

◎一人ひとりが健康を実現することで、“まち”が元気を取り戻す“元気循環型”の町づくりをめざし、町民が健康づくりに主体的に取り組む意識を高め、健康づくり活動を支援します。

◎各種がん検診や特定健診への受診を促し、病気の早期発見に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
推進体制	①福島町健康づくり推進計画に基づいた取り組みを行う	○	○	○
	②がん検診の無料化を図り町民、関係団体、行政が一体となった予防普及活動の強化を図る	○	○	○
	③平成29年度の保健師採用に向けて関係機関への協議調整を進める	○	◎	◎
	④健康づくり推進員により町民一人ひとりへの受診勧奨を行う	○	○	○
	⑤各種講演会の参加などを通じ健康づくり推進員自身の意識向上を図る	○	○	○
健康づくり意識	①町民一人ひとりが健全な食生活を実践する意識づけを行う	○	○	○
	②健康フェスティバルを開催し幼少期から高齢者までの参加を呼びかけ町民の健康意識を高める	○	○	○
各種検診・特定健診	①がん検診の必要性を町民に理解してもらい定期的に健診を受ける意識づけを行う	○	○	○
	②各種がん検診や特定健診を推進する	○	○	○
健康保養施設	①前期期間内での新築か改築かの方向性を確立する	○	○	○
	②送迎バスの増便など温泉利用者の利便性向上に向けた対策を講ずる	○	○	○
目標とする指標	①特定健診の受診率 55%	28.5%	20.5%	25.7%
	②特定健診の保健指導率 60%	79.4%	88.6%	75.4%
	③肺がん検診年間受診者数 440人	359人	352人	375人
	④健康フェスティバル参加者数 220人	200人	200人	200人
	⑤吉岡温泉の年間利用者数 68,000人	67,491人	65,820人	65,120人
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第2章 町民の安心安全な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

2 地域医療

◎医療機関など関係機関と連携し、地域の医療環境や救急医療体制の確保維持に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
医療施設	①現在の医療機関を維持するとともに町民が安心して生活できる医療体制を進める	○	○	○
	②在宅歯科診療器具を導入して訪問診療を可能とすることで医療福祉の充実を図る	○	○	○
目標とする指標	①医療機関数 4医院	3医院	3医院	4医院
特記事項等	○H30.6.15 福島町国民健康保険診療所「やまゆりクリニック」開設			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第2章 町民の安心安全な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

3 地域福祉

◎少子高齢化や過疎化が進み、日常生活を送ることに不安を抱える町民が増えても、行政のサポートや地域での支え合いによって、地域で生活を続けることができるように支援します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
推進体制	①地域福祉計画に基づき地域共助の体制づくりを推進する	○	○	○
	②地域包括支援センターの組織体制を見直し介護予防・日常生活支援総合事業や認知症施策、在宅医療・介護連携等を推進する	○	○	○
支援体制	①介護生活支援サポート制度のPRと活用を推進し地域全体での支援体制の整備を進める	○	○	○
	②引き続き冬期間の灯油購入費用の助成を行う	○	○	○
高齢者等の雪対策	①町内会などの関係機関と連携し除排雪の支援体制の充実	○	○	○
目標とする指標	①介護生活支援サポーターの登録者数 43人	43人	43人	43人
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第2章 町民の安心安全な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

4 高齢者の福祉

◎年齢を重ねても地域で安心して生活できるよう、自立支援や見守りなどを通じて支援します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
介護の予防	①地域包括支援センターの組織体制を見直し介護予防・日常生活支援総合事業や認知症施策、在宅医療・介護連携等を推進する	○	○	○
高齢者の見守り、災害時の避難支援	①要介護者台帳を町内会などともに情報共有できるよう更新や活用の拡充を進める	○	○	○
	②買物支援電話帳の活用を図る	△	△	△
	③災害時要介護者の避難等が円滑に行える体制をつくる	△	△	△
高齢者の活動支援	①老人クラブへの加入促進を図るとともに活動を支援する	○	○	○
高齢者施設	①社会福祉法人が行う施設整備等を支援する。H28年度中に法人が策定する整備計画に対応して方向性を確立する	○	○	○
	②高齢者施設の増床・拡充を保険料上昇などの加味しながら検討する	△	△	△
	③地域で安心して暮らせるよう生活支援ハウスを運営する	○	○	○
目標とする指標	①要介護者の割合 18%以下	16.3%	14.3%	15.6%
	②老人クラブ加入率 28%	21.7% (H28末)	20.1%	18.4%
	③ふれあい教室年間開催数 90回	85回	78回	70回
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第2章 町民の安心安全な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

5 障がい者の福祉

◎個々の人権と個性を尊重し、支え合い自立して安心・安全に生活できる共生社会の実現に向

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
支援体制	①必要な情報の提供や助言・各サービスの利用支援等を行う	○	○	○
	②公共的な建物には福祉的配慮を図る	○	○	○
	③災害時要援護者に対する日常的な見守りや災害時の支援体制の充実を図る	△	△	△
	④組織体制を見直し専門的職員を配置するなど福祉サービス等の推進・充実を図る	○	○	○
	⑤成年後見制度の周知に努め利用支援・助成を行う	○	○	○
経済的な支援	①経済的負担の軽減のため、更なる周知・広報の充実を図り利用の促進に努める	○	○	○
社会参加	①障害者スポーツ大会などを通じて社会参加の支援と促進を図る	△	○	○
	②関係団体と連携し文化活動等に対する支援及び参加機会の拡充を図る	○	○	○
目標とする指標	①障害者団体会員数 26人	25人	25人	20人
	②ふれあいスポーツ大会等参加者数 24人	11人	8人	6人
	③バリアフリー化されている公共施設数 12箇所	12箇所	12箇所	12箇所
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第2章 町民の安心安全な暮らし・がん予防対策の充実(保健・医療・福祉)

6 生活福祉、社会保障

◎要保護世帯に対して適切な支援を行い、自立を助長します。

◎国民年金、国民健康保険、介護保険などの制度について周知し理解を促します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
要保護世帯	①ケースワーカーと連携を図る	○	○	○
	②生活福祉資金、母子福祉年金制度の周知に努める	○	○	○
国民年金事業	①年金給付の適正化を推進する	○	○	○
	②保険料の免除や若年者納付猶予制度等の周知・啓発を図る	○	○	○
	③分かりやすい年金相談に努める	○	○	○
国民健康保険事業	①特定健診受診率の向上に努め医療費の抑制を図る	○	○	○
	②国保の財政推計を行いながら財政の健全化を進める	○	○	○
	③国保税滞納解消のため滞納処分の強化を図る	○	○	○
介護保険事業	①保険財政運営のため適切なサービス利用を図る	○	○	○
	②適切な給付推計により保険料を設定し会計の収支均衡を図る	△	○	○
目標とする指標	①要保護世帯 116世帯	115世帯 (H29.3)	110世帯 (H30.3)	103世帯 (H31.3)
	②特定健診の受診率(再掲) 55%	28.5%	20.5%	25.7%
	③要介護者の割合(再掲) 18%以下	16.3%	14.3%	15.6%
	④国民年金制度等の町民周知年間回数 12回	12回 (H29.3)	12回 (H30.3)	12回 (H31.3)
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

1 土地利用

- ◎土地の公益性を尊重しつつ、長期的な視点を持ち、秩序ある土地利用を進めます。
◎増加の傾向にある自然災害が発生しにくい、また、発生しても拡大につながらない、安全性の高い土地利用を進めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
農業用地	①市民農園整備促進法等の活用を検討する	△	△	△
	②農協等と連携し農地集積を進める	△	△	△
森林地域	①水源涵養機能や土砂流出防備などの森林機能の向上を図る	○	○	○
市街地	①だれもがより生活しやすい土地利用を進める	△	△	△
	②商店街や道の駅などのエリアにおいて町内外の人が交流し楽しむことができる機能を高める	△	△	△
	③移住者用等の住宅建設のための土地について、土地開発基金を活用して先行取得し未来を見通した土地利用を進める	△	◎	◎
目標とする指標	①遊休農地の解消面積	-ha	-	-
	②水源涵養町有林面積	565ha	565ha	565ha
特記事項等	○市街地①:H29.30都市マス・立地適正化策定 ○H29年12月土地開発基金で土地購入(9,949.21㎡、20,400千円)			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

2 自然保護、環境共生

◎地域における貴重な自然環境を適切に管理保全します。

◎生物多様性や持続可能性などをふまえ、環境やそこにすむ生物にできるだけ負荷をかけない環境保全に努めます。

◎河川の水質監視や町民への意識啓発により、排水やごみなどが環境悪化につながらないようにします。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
自然環境の保全	①豊かな自然環境や景観の保全に努める	○	○	○
	②松前矢越道立自然公園については、引き続き保全に努める	○	○	○
	③大千軒岳の自然保護については、維持・保全に向けた啓発活動を行う	○	○	○
排水の監視	①主要河川の水質検査など状況把握と監視を行う	○	○	○
	②一般住宅への浄化槽の設置を促進し河川の水質向上を進める	○	○	○
町民への意識啓発	①広報などを通じて環境保護に向けた意識啓発を行う	○	○	○
目標とする指標	①自然保護監視員活動回数 84回	46回	56回	68回
	②浄化槽の普及率 19%	19.9% (H28)	22.8%	20.4%
	③広報等による環境保護意識の啓発回数 5回	2回 (H29.3)	6回 (H30.3)	5回 (H31.3)
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

3 公園・緑地、景観、環境美化

◎町民や来訪者が自然に親しめる場として、町内の公園などを適切に管理します。

◎町民の協力を得ながら清掃活動を定期的に行い、きれいなまちを保ちます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
公園	①利用しやすく親しみやすい公園づくりに努める	○	○	○
	②森林公園一帯としての整備を検討する	○	○	○
街路樹	①景観向上のため街路樹の整備を検討する	△	○	○
環境美化	①町内会や各種団体の協力を得ながら清掃活動を推進する	○	○	○
	②ポイ捨て対策を強化する	○	○	○
目標とする指標	①都市公園の老朽化施設改修数 1件	1件	1件	1件
	②ボランティア清掃活動数 8回	9回	4回	4回
	③町が管理している街路樹本数 147本	147本	147本	147本
特記事項等	○新緑公園改修 H27:木製複合遊具取替 H28:トイレ建替 H29:遊具改築、バックネット、フェンス H30:砂場、フェンス			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

4 ごみ処理、リサイクル

◎ごみの分別がより徹底できるよう、町民の理解と協力を促し、効率的なごみの収集に努めます。

◎ごみの減量やリサイクルにつながる取り組みを進め、資源循環型社会を推進します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
ごみの収集、処理体制	①分別の徹底と適正な処理に努める	○	○	○
ごみ処理施設	①ごみ処理関連施設の適切な維持管理に努める	○	○	○
ごみの減量化、利活用、リサイクル	①ひとしぼり運動の周知、堆肥の利用普及策についてごみ減量化推進員会議等で検討を進める	○	○	○
	②小型家電のうち特定品目についての回収体制の整備を図る	○	○	○
不法投棄	①巡回パトロールを強化し看板等を設置しながら不法投棄の抑制に努める	○	○	○
	②不法投棄を発見した場合は警察に通報するなど対策を強化する	○	○	○
目標とする指標	① 集団資源回収年間排出量 76 t	69.3t (H28)	65.7t	58.6 t
	② 一般ごみのひとり当たりの排出量 0.37 t	0.36t (H28)	0.36 t	0.37 t
	③ ごみの総排出量に対する資源ごみの割合 9.9%	7.6% (H28)	7.2%	6.5%
特記事項				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

5 水道、排水・し尿処理

◎水道の管路や関連施設を計画的に更新、整備しながら経営の健全化に努めます。

◎排水・し尿処理を適切に行える環境づくりを進め、清潔な生活環境づくりを進めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
水源	①水源涵養保安林を保全管理し水質の向上に努める	△	△	△
配水管	①配水管を整備する	○	○	○
	②40年を超えている配水管は計画的に更新する	○	○	○
	③石綿管が解消されるまで取替工事を継続する	○	○	◎
水道施設・設備	①適切な維持管理と老朽設備を計画的に更新する	○	○	○
	②施設の延命化に努め、設備更新の費用負担を軽減する	○	○	○
	③中央監視設備を更新する	◎	◎	◎
水道事業	①水道事業会計の適切な運営を図る	○	○	○
	②収支の状況を見定めながら適切な水道料金や水道料体系を検討する	○	○	○
	③水道未使用者への水道加入を促進する	△	△	△
排水処理施設	①浄化槽の設置をPRし設置希望者が増加するよう努める	○	○	○
し尿処理施設	①関係自治体と連携しし尿処理を行う	○	○	○
目標とする指標	①石綿セメント管の更新率 89%	89%	100%	100%
	②浄化槽総設置基数 154基	106基 (H28)	116 (H29)	126 (H30)
特記事項等	○石綿管更新は、H29実施の館崎地区配水管取替工事及び町道館崎2号線配水管取替工事で更新率100%となった。			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

6 道路網

- ◎国道や道道については、国や北海道に早期整備や適切な維持補修を要請します。
- ◎町道や町が管理する橋については、緊急度を考慮しながら、整備や維持補修に努めます。
- ◎除雪を適切に行い、冬の道路環境を安全に保てるよう努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
高規格道路	①地域高規格道路の早期完成を関係機関に要請する	○	○	○
	②広報等によりPRし整備に対する町民の意識の向上を図る	○	○	○
国道	①整備や適切な維持管理について関係機関に要請する	○	○	○
	②う回路の整備について関係機関に要請する	○	○	○
道道	①必要な整備・適切な維持管理について関係機関に要請する	○	○	○
町道	①維持管理を計画的に行う	○	○	○
	②堆雪スペースを確保し冬の道路環境維持に努める	○	○	○
	③各橋梁の点検や維持補修を行い長寿命化を進める。危険な橋梁の架替も行う	○	○	○
目標とする指標	①沿線自治体と連携した年間活動要請回数 3回	5回	4回	4回
	②町道整備補修延長 105m	105m	103m	391m
	③町道の除雪延長 39.5km	39.5km	39.5km	39.5km
	④除雪堆積箇所数 52箇所	52箇所	52箇所	52箇所
	⑤橋梁補修件数 0件	2橋	1橋	1橋
特記事項等	橋梁補修 H27：2橋補修 H28, 29：1橋架替 H30：1橋補修			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

7 公共交通、情報通信

◎路線バスの存続や利便性の向上について、関係機関や関連自治体と連携し対策を講じます。

◎デマンドバスにより交通の利便性を高め、高齢者など利用者の外出意欲の向上につなげます。

◎情報化社会の環境充実を図ります。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
路線バス	①路線バスの合理化や利便性の向上を図る	△	△	△
デマンドバス	①利用促進に努める	○	○	○
	②ドア・ツー・ドア性の向上に努める	○	○	○
バス待合所	①バス待合所の適切な維持管理に努める	○	○	○
通信基盤、 通信環境	①高速通信サービス提供エリアが拡大するよう民間事業者に要望する	△	△	○
	②公共施設において無線(Wi-Fi)整備を進める	○	○	○
	③テレビが安定的に受信できるよう中継局の管理・運営に努める	○	○	○
	④各共聴組合が安定した運営ができるよう負担軽減を図る	○	○	○
	⑤難視解消に向けて協議を進め対策を講ずる	○	○	○
	⑥携帯電話の不感エリアが解消されるよう関係機関への要望を進める	△	△	△
目標とする 指標	①デマンドバスの年間利用者数 2,700人	3,070人 (H28)	3,114 (H29)	2,825 (H30)
	②高速通信サービス提供地の利用世帯数 435世帯	279世帯	210世帯	210世帯
	③路線バス維持に関する協議会開催回数 1回	2回	3回	2回
特記事項等	○携帯電話の不感エリア解消の要望については、エリアと利用者に特別な不便がないと判断し、関係機関への要望は見合わせることにしたい。 ○高速通信サービスの利用世帯数は、NTTのサービス利用者のみ。			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

8 住宅

- ◎「福島町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、既存住宅の適切な維持管理に努めます。
- ◎「定住促進住宅奨励金」や「空き家バンク制度」などを通じて、住宅の建設促進や空き家の解消に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
公営住宅	①三岳改良住宅の建替えを行う	○	○	○
	②設備改修により移住性を向上させる	○	○	○
一般住宅	①定住促進住宅等奨励事業により町内への住宅建設を促進する	○	○	○
	②空き家バンク制度のPRに努め定住者の増加と空き家の解消を図る	○	○	○
定住促進住宅	①定住促進住宅整備プラン(仮称)を策定する	○	◎	◎
空家対策	①空家等に関する条例の施行により所有者等へ適切な管理を促す	○	○	○
目標とする指標	①公営住宅の住環境向上戸数 24戸	24戸	24戸	24戸
	②空き家バンク登録件数 3件	1件	1件	1件
	③定住促進住宅等奨励金補助件数 3件	3件	1件	3件
特記事項等	空家除却補助利用件数 H29:25件 H30:14件			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

9 児童福祉、子育て支援

◎地域社会全体で、子どもの健やかな成長と保護者の子育て支援を目的として策定した「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、安心して子どもを産み育てられる環境の整備を図ります。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
認定こども園	①交流連携を進め幼児期に必要な体験や経験を積む機会を広げる	○	○	○
	②保育サービスの充実に努める	○	○	○
	③耐久性に高い遊具を設置し安全に遊べる環境を整備する	△	△	△
	④子供を産み育てる環境整備のため保育料の無料化を実施する	◎	◎	◎
地域子育て支援センター	①地域子育て支援センターのPRを行う	○	○	○
	②情報の提供、助言その他の援助について周知啓発するとともに利用しやすい運営に努める	○	○	○
	③子育て世代の交流広場の提供をめざし施設の増築を行う	◎	◎	◎
子育ての相談、情報提供	①状況に応じた保健指導、助言の充実に努める	○	○	○
	②子育てガイドブックの加筆修正等を行い内容の充実に努める	△	△	△
乳幼児健診など	①月1度の乳幼児健診を継続する	○	○	○
子育て支援	①医療費無料化や出産祝金交付事業を引き続き実施する	○	○	○
	②ひとり親世帯を支援する制度の周知を行う	△	○	○
児童公園	①町内会と協議のうえ遊具の修繕・整備を行う	△	△	△
学童保育	①地域の大人とのかかわりも経験できる安心、安全な場所づくりを推進する	△	△	△
	②子どもたちが自主的に活動する環境づくりを推進する	○	○	○
	③保育料の無料化を実施する	◎	◎	◎
子育てネットワーク	①人権意識の啓発を図る	△	△	△
	②虐待等の未然防止に努める	△	△	△
目標とする指標	①ゆりっこ広場の年間開催数	40回	43回	44回
	②乳幼児健診の実施回数	12回	12回	12回
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

10 火葬場

◎火葬施設や墓地公園の適切な維持管理に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
火葬施設	①適切な維持管理に努め安定した運営体制の維持に努める	○	○	○
墓地公園	①適切な維持管理に努める	○	○	○
	②未建立者に対し建立に向けた取り組みを行う	○	○	○
目標とする指標	❶墓地公園の未許可区画数 72区画	69区画 (H28末)	64区画 (H29末)	59区画 (H30末)
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

11 防災

◎大雨など自然災害の発生が高まる中、町民の災害への意識を高めるとともに、防災や減災に向けた取り組みを進めます。

◎治山や治水に関する取り組みにより、災害の未然防止に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
防災計画 防災体制	①全町一体となった防災体制の確立に努める	○	○	○
	②町民への防災意識の啓発と地域ぐるみの防災活動を推進する	○	○	○
	③全町一斉や災害別の防災訓練を実施する	○	○	○
	④防災備蓄品や資器材の整備・更新を図る	○	○	○
防災行政無線	①施設の維持管理を行い安定した受信環境づくりを進める	○	○	○
	②個別受信機を活かした積極的な広報活動を図る	○	○	○
治山	①危険区域を重点に治山施設の整備に努める	○	○	○
治水	①国や道に要望し治水対策を推進する	○	○	○
目標とする 指標	①防災訓練回数 1回	1回	1回	1回
	②防災活動を行っている自主防災組織数 38組織	38組織	38組織	38組織
	③がけ地等危険区域整備要望箇所数 12件	12件	12件	12件
特記事項等	○平成28年11月全町一斉防災訓練実施 ○平成29年12月全町一斉防災訓練実施 防災エアテント購入 ○平成30年11月全町一斉防災訓練実施			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

12 消防・救急

◎町民の防火への意識を高めるとともに、火災を未然に防ぐ環境づくりを進めます。

◎消火及び救急活動が迅速かつ適切に行えるよう、人員の確保や装備等の更新等消防・救急体制の強化に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
防火意識	①多くの町民が参加できる新たなイベントを取り入れ参加者の防火意識の高揚に努める	△	△	△
防火活動	①住宅用火災報知機の設置促進を図る	○	○	○
	②広報活動を通して注意喚起を行い火災を未然に防ぐ	○	○	○
消防団	①団員確保のため積極的に入団の働きかけを行う	○	○	○
	②活動に必要な施設、装備、車両などを計画的に更新する	○	○	○
消防署	①計画的に職員の採用を行う	○	○	○
	②職員の知識・技術の向上に努める	○	○	○
	③消防施設など計画的に更新、整備する	○	○	○
	④気象データを活用し警報発令前にも警戒活動を行う	○	○	○
救急活動	①計画に基づき車両、資機材を更新する	○	○	○
	②普通救命講習会を実施し救命率の向上をめざす	○	○	○
目標とする指標	①防火意識高揚イベントの年間開催数	3回	3回	3回
	②住宅用火災報知機の設置数	70%	64.7%	66.0%
	③普通救命講習の年間受講者数	85人	107人	148人
	④消防計画に基づく施設等整備件数	3件	3件	5件
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第3章 豊かな環境と若者等の定住対策・子育て環境の充実(生活環境・定住対策)

13 交通安全・防犯

◎町民の交通安全への意識を高めるとともに、交通事故が起こりにくい環境づくりを進めます。

◎町民の防犯意識を高めるとともに、警察など関係機関と連携し、犯罪の発生を未然に防ぎます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
交通安全	①道路照明のLED化を推進する	○	○	○
	②交通安全に関する教育や意識啓発を実施する	○	○	○
	③交通ルールの遵守と町民総ぐるみによる交通安全運動を継続する	○	○	○
防犯	①防犯意識の向上を図り悪質商法や特殊詐欺などの被害を防ぐ	○	○	○
	②警察などと連携し防犯活動を行う	○	○	○
	③各町内会と連携し防犯等のLED化を進める	○	○	○
目標とする指標	①死亡交通事故の発生件数 0件	1件	0件	1件
	②防犯啓発イベント参加回数 3回	3回	3回	3回
特記事項等	○H28年5月9日交通死亡事故発生 ○H30年5月16日交通死亡事故発生			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

1 生涯学習

◎町民一人ひとりの生涯学習活動を支援するために必要な体制づくりを進めます。

◎子どもから大人まで読書に親しんでもらえるよう、読書活動を推進します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
推進体制	①団体内の指導者の育成を図り新たな指導者の確保に努める	△	△	△
	②社会教育を円滑に進めるため専門職の要請を図る	△	○	○
	③各団体のボランティアの情報交換を行えるような場づくりを検討する	△	△	△
福祉センター	①前期計画期間中に基本的な方針を定め展望計画において改修等を行う	○	○	○
図書室、 図書活動	①利用者のニーズを把握し蔵書の充実に努める	○	○	○
	②読書活動に関する各種方策を推進する	○	○	○
	③図書室ボランティア制度の確立を図る	○	○	○
	④町のホームページや図書室だよりでのPR活動など充実させる	○	○	○
	⑤図書ボランティアの支援により移動図書室事業の人員不足を解消する	○	○	○
目標とする 指標	①文化系生涯学習ボランティアの人数 40人	51人	51人	40人
	②町民一人当たりの図書年間貸出冊数 4.6冊	4.9冊	4.6冊	4.6冊
	③町民の図書室利用者登録者数 700人	574人	546人	509人
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

2 幼児教育、学校教育

◎幼稚園への支援などを通じて幼児教育の充実に努めます。

◎確かな学力の定着をめざし、基礎的な知識や技術を習得させるとともに、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力の醸成、自ら進んで学習に取り組む意識の向上をめざします。また、子ども達が心身ともに健やかに成長するための教育を進めます。

◎教職員の資質の向上や指導体制の充実に努め、各教科の理解度の底上げを図ります。

◎衛生管理を徹底しつつ、地元産食材の使用割合を高めるなど地域の特色を生かした安全・安心でおいしい給食の提供と食育の推進に努めます。

◎福島商業高等学校の魅力を高める教育活動や部活動等を支援し、入学者の確保に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
幼児教育	①子ども計画に基づき幼児教育の充実に努める	○	○	○
	②私立幼稚園の保護者の負担が生じないよう助成する。運営費の助成を継続する	○	○	○
	③自然体験や社会体験の教育内容を充実させる	○	○	○
小中学校の教育	①巡回指導員の配置を道に要請する	○	○	○
	②中学校の臨時教員を継続して配置する	○	○	○
	③教職員の資質向上のため各種研修会へ参加する機会を多くする	○	○	○
	④学習支援員を小学校に配置する	○	○	○
	⑤コンピュータ整備について検討する	○	○	◎
	⑥相撲の指導者を確保し相撲に親しむ教室等を継続する	○	○	○
	⑦東農大の出前講座を活用し自然科学への興味と理解を促す	○	○	○
給食	①地元食材の使用割合を高めるように努める	○	○	○
	②施設、設備の維持管理に努める	○	○	○
	③給食費の無料化を実施する	○	◎	◎
校舎など	①長寿命化計画を策定し計画的な回収や維持管理を実施する	△	△	△
児童・生徒送迎	①早期にスクールバスの更新を行う	○	◎	◎
教職員	①住宅の計画的な改修、整備に努める	○	○	○
	②指導方法の改善を図り児童生徒の学力向上につながるよう努める	○	○	○
高等学校	①道教育委員会に再編対象人数の引き下げを要望する	○	◎	◎
	②引き続き入学者の確保に努める	○	○	○
	③町外生徒のホームステイや下宿等の経済的負担も支援する	○	○	○
	④各種資格取得について支援する	○	○	○
	⑤東農大との協定に基づき教育的支援を通じた人材育成を図る	△	△	△
奨学資金制度	①利用拡大につながるよう制度周知に努める	○	○	○
目標とする指標	①学校給食における地場産物の使用割合 40%	41% (H28米飯)	43% (H29米飯)	48% (H30米飯)
	②福島商業高等学校への入学者 20人	23人	14人	12人
	③学習支援等臨時教員配置数 3人	3人	3人	3人
	④先進地視察研修の派遣教員数 4人	1人	12人	10人
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

3 社会教育、青少年の育成

◎「第6次福島町社会教育中期計画」に基づき、各年代の学習要求を的確にとらえながら、自主的に学ぶ場の提供に努めます。

◎青少年が心身ともに健やかでたくましく成長するよう、町民みんなで見守るとともに、ふれあい学び合う機会と場を提供します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
幼児	①幼児向けの演劇・人形劇・影絵等の鑑賞機会を設け情操教育を進める	○	○	○
児童・生徒	①通学合宿事業を拡充させる	○	○	○
	②各種講座やリーダーシップ・表現力を育成する「青少年の主張大会」などを継続する	○	○	○
	③町民分文化祭等にリーダーとして活動できるボランティア体制の確立に努める	○	○	○
	④子どもたちが休日を有効に活用できる機会を設ける	○	○	○
一般(高齢者学級以外)	①地域の生涯学習機会の確保に努める	○	○	○
	②主体性を尊重した「地域生活学級」を支援する	○	○	○
	③独自性のある成人記念行事を引き続き開催する	○	○	○
高齢者	①高齢者学級のプログラムの工夫と充実に努める	○	○	○
目標とする指標	①全講座の年間参加率 8.4%	4.5%	10.3%	11.0%
	②高齢者学級年間開催数 6回	6回	6回	5回
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

4 スポーツ

◎町民一人ひとりが生涯にわたって各年代に応じた体力・健康づくりに親しめるように、生涯スポーツ活動を推進します。

◎スポーツを安全かつ快適に楽しめるよう、スポーツ関連施設の適切な維持管理に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
推進体制	①指導者の育成を支援するとともに新たな指導者の確保に努める	○	○	○
幼児・青少年	①新たな事業の掘り起しも視野に入れながら各種教室・大会等を進める	○	○	○
	②運動教室を開催し日常的に運動に親しむ環づくりに努める	○	○	○
成人・高齢者	①新たな事業の掘り起しも視野に入れながら各種教室・大会等を進める	○	○	○
スポーツイベント	①新たな運営方法を検討しながら伝統の「南北海道駅伝競走大会」を継続する	○	○	○
	②吉岡地区の合同運動会を継続して開催する	○	○	○
少年団体、成人団体	①少年団の育成及び活性化に努める	○	○	○
	②成人団体の維持及び活性化に努める	○	○	○
	③総合型スポーツクラブの検討を行う	△	△	△
体育施設	①計画に基づき適切な維持管理を行う	○	○	○
	②町民プールの健康福祉分野も視野に入れ利用の向上に努める	○	○	○
	③パークゴルフ場は快適に利用できる施設運営に努める	○	○	○
	④新緑公園は各施設の管理に努める	○	○	○
目標とする指標	①全事業の年間参加率 36%	42%	43%	47%
	②総合体育館の一人当たり年間利用回数 4回	3.8回	5.0回	4.8回
	③町民プールの一人当たり年間利用回数 0.6回	0.71回	0.87回	0.67回
	④パークゴルフ場の一人当たり年間利用回数 1.5回	1.2回	1.2回	1.1回
	⑤体育系生涯学習指導者登録人数 30人	26人	26人	16人
	⑥スポーツ関連施設数 6箇所	6箇所	6箇所	6箇所
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

5 芸術・文化

◎芸術文化の振興により町民に潤いと安らぎをもたらすことができるよう、芸術文化活動の支援や鑑賞機会の確保に努めます。

◎地域に根差した貴重な文化財を、長期的な視点に立って保存・伝承します。また、文化財を公開することにより、町民の文化財等に対する意識を啓発します。

区分	施策	進捗状況			
		H28実績	H29実績	H30実績	
文化団体	①各種文化事業の運営や出店・出演を支援する	○	○	○	
文化イベント など	①町民文化祭の企画から運営まで支援する	○	○	○	
	②全町民に対して音楽をはじめとした芸術文化に触れる機会の充実に努める	○	○	○	
	③小学生には広域事業で取り組んでいる芸術鑑賞事業を継続する	○	○	○	
指導者、 リーダー	①各団体との連携や他町との情報交換を行い指導者の育成を支援する	○	○	○	
文化財	①必要性等を機会をとらえて啓発する	○	○	○	
	②文化財パトロールを継続する	○	○	○	
	③文化財マップ、文化財の一般公開、埋蔵文化財に係る考古学講座を通じて文化財への関心を促し周知に努める	○	○	○	
	④館崎遺跡の出土品を公共施設に保存・展示しながら縄文文化に親しむ機会を提供する	○	○	○	
	⑤展示及び保存場所等の改修等を検討する	○	○	○	
	⑥埋蔵文化センター等の指導や協力等を仰ぎながらボランティアを養成し活用を図る	△	△	△	
	⑦文化財の保存に係る長期的なプランを策定する	△	△	△	
	⑧保存団体と連携し定期的な講演、演技者の確保、用具の整備を支援する	○	○	○	
目標とする 指標	①文化団体数	18団体	21団体	21団体	21団体
	②町民文化祭入場者数	1,500人	1,240人	1,653人	1,533人
	③無形文化財公開回数	26回	15回	7回	8回
特記事項等	○町民文化祭11月12日～13日実施				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第4章 学び合い、たくましい人を育てる(教育・文化)

6 地域間交流、国際化

◎本町とゆかりのある地域や人との縁を大切にしながら、町外との交流を地域の活性化に結びつけていきます。

◎外国人観光客や来訪者への対応、学校での教育など、国際化に対応したまちづくりを進めま

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
友好市町との交流	①主に生徒交流を実施し地域間の友好を深める	○	○	○
	②楽しく安全に交流することができるよう宿泊や活動プログラムを検討する	○	○	○
	③墨田区との友好交流関係を構築するとともに当町のPRを高める	△	○	○
若者等の交流	①出会いの機会の提供を支援する組織づくりに取り組む	○	×	×
福島会のネットワーク	①側面的な支援や福島町に関する情報発信に努める	○	○	○
	②新規会員の加入促進に向けて同窓会等での情報提供などサポートに努める	△	×	×
国際化	①外国語の併記など海外からの観光客や来訪者の対応した環境づくりを進める	△	○	○
目標とする指標	①友好市町相互交流年間参加人数 18人	13人	10人	13人
	②ふるさと会交流回数 4回	3回	3回	3回
	③外国語表記施設数 2箇所	1か所	2か所	2か所
	④ALT配置数 2人	2人	2人	2人
	⑤メールマガジン配信回数 10回	-	-	-
特記事項等	○福島会の同窓会等での情報提供サポートは個人情報保護法との関係から、H27年度の取り組み状況から、実現は困難であり対応は中止とした。			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動・行財政)

1 コミュニティ

◎町民の自主的なコミュニティ活動を支援するとともに、活動の拠点となる施設の改修を計画的に進めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
コミュニティ活動	①町内会が自主的に活動できるよう側面から支援する	○	○	○
	②地域の主体性を尊重した「地域生活学級」を支援し地域の生涯学習機会の確保に努める	○	○	○
	③地域に適したコミュニティ活動の推進を図る	○	○	○
コミュニティ施設	①関係町内会等と協議を進め改修の優先度を判断し計画的に町内会館等の改修を行う	○	○	○
	②運営費補助を継続し町内会の負担軽減を図る	○	○	○
	③吉岡総合センターの利用促進に努めニーズにあった交流促進を図る	○	○	○
目標とする指標	①地域生活学級年間開催数 5回	2回	4回	1回
	②コミュニティ活動支援事業数 6件	4件	6件	5件
	③維持保全計画に基づく町内会館等の調査件数 4件	4件	2件	0件
特記事項等	○H29年度町内会館調査2件（白符、丸山） ○H30年度会館再編計画（宮歌、豊浜、吉野解体・宮歌と豊浜町内会館建設）岩部改善センター解体、岩部交流センター建設			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動・行財政)

2. まちづくり活動、女性の参画

◎「まちづくり基本条例」の理念に基づく、行政、議会、町民の参画と協働によるまちづくりを進めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
まちづくりに関する組織	①団体推薦のほか、公募により多くの町民の声をまちづくりに広く反映させるように努める	○	○	○
女性の参画	①女性の視点でとらえた意見を行政運営に反映させる	△	△	△
目標とする指標	①各種審議会の女性委員の登用割合 38%	26.9%	26.5%	36.2%
	②推進会議で採択したふるさと応援基金活用事業 1件	1件	1件	1件
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動・行財政)

3 広報・広聴、情報発信

◎「まちづくり基本条例」の理念を基に、町民の参画と目的意識の共有を図るため、広報・広聴の充実に努めます。

◎「広報ふくしま」や町ホームページ等により、わかりやすく内容の充実した情報発信に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
広報、 情報発信	①ITについて福島町に適した情報基盤の構築を進める	○	○	○
	②見やすいHPをめざし、文字の大きさや配置を工夫し改善するとともにリアルタイムな情報発信を行う	○	○	○
	③広報は分かりやすく伝えるとともに、親しみやすい紙面編集に努める	○	○	○
	④送付を希望する方ふるさと納税された方に対して町広報を配布する	○	○	○
	⑤防災行政無線施設の安定した受信環境を保ちます	○	○	○
広報、 意見の募集	①移動町長室や連絡担当職員を通じて町民の意見を聞きまちづくりに反映させるように努める	○	○	○
	②公共施設に「意見箱」の設置を進める	○	○	○
	③公募やパブリックコメント制度などのPRを行い町民が参画・共同しやすい体制づくりに努める	△	△	△
	④パブリックコメントを実施する際は概要版を配布するなど内容の周知に努める	○	○	○
	⑤議場について参画者と議員が討議できるように環境整備を進める	△	△	△
町のPR活動	①町花「やまゆり」の町民への普及や町外へのPRを進める	△	△	△
	②町のキャラクターを活用した情報発信を積極的に行う	○	○	○
目標とする 指標	①町ホームページ年間アクセス件数 64,000件	-	-	298,475件
	②移動町長室等の年間開催数 2回	2回	1回	1回
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画 基本計画（主要施策）の進捗状況

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動・行財政)

4 行政運営

◎限られた人員と予算の中で、効率的かつ機能的に行政運営が行えるよう努めます。

◎町民が親しみやすい役場づくり、迅速で親切な窓口対応に努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
組織、機構	①「職員定員管理適正化計画」に基づき機構再編を行う	◎	◎	◎
	②事務処理の効率化と行政サービスの向上のため職員体制の充実を図る	○	○	○
	③人事評価制度の構築及び関係団体との協議を進めH29.1月導入に向けて取り組む	○	△	△
行政改革	①行政改革大綱に基づき効率的かつ効果的な行政運営に努める	○	○	○
事務事業評価	①事務事業評価の評価結果をもとに事務事業の改善を行う	○	○	○
事務処理	①導入済みのシステムを活かし効率的な事務処理を行う。基幹システムは他の業務と合わせ更新する	○	○	○
	②システム運用以外の業務についても職員間で事務改善による効率化を図る	△	△	△
	③町で管理しているデータを活用し就業状況等を把握するためのシステムを構築する	○	○	○
	④国の指針に基づき情報セキュリティの抜本的な強化を図る	◎	◎	◎
職員研修	①職務に応じた能力向上のため研修体制の充実を図る	○	○	○
	②H28年度より北海道との交流及び派遣研修を実施し職員研修の充実を図る	○	○	○
公共施設、庁舎など	①国の公共施設等総合管理計画の内容等を踏まえ本町における計画策定を進める	○	◎	◎
	②上記①を踏まえ町の「公共施設維持保全計画」の見直し公共施設配置を再検討する	△	○	○
	③地域防災計画を踏まえ公共施設の耐震化を推進する	○	○	○
	④指定管理者手続条例に基づき民間による施設管理に向けて環境整備を図る	○	○	○
公用車	①安全性と環境に配慮した車両の管理、更新を計画的に進める	○	○	○
目標とする指標	①職員定員適正化計画に基づく役場の職員数 81人	82人 (H29.4)	76人 (H30.4)	83人 (H31.4)
	②職員研修の年間開催数 15回	15回	15回	15回
特記事項等	○H28.4機構再編実施 ○北海道との派遣・交流研修実施（H30年度自治法派遣受入1名市町村振興協会派遣1名（H29～30） ○公用車管理台数 28台（H31.3）			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動・行財政)

5 財政運営

- ◎財政計画に基づき、計画的で健全な財政運営を行います。
◎財政運営の状況について、町民に分かりやすく公表します。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
財政運営	①計画的で持続可能な財政運営を基本とし取り巻く環境の変化行政需要の変化に柔軟に対応できるようにする	○	○	○
	②財政運営基準表(仮称)を検討し公表する	△	△	△
	③公会計制度の改正など国に動向を踏まえながら財務管理を行う	○	○	○
健全化に向けた取り組み	①納期内納付の勧奨、滞納処分強化等により町税収納率の向上に努める	○	○	○
	②補助制度、交付金を効果的に活用する	○	○	○
	③使用料及び手数料等の適正化に努める	○	○	○
	④計画的な事業実施により公債費を抑制する	○	○	○
	⑤徹底したコスト見直しによる経常経費を抑制する	○	○	○
目標とする指標	①財政調整基金の残高 1,730百万円	1,714百万円	1,507百万円	1,369百万円
	②町税収納率 89%	89.2%	92.1%	92.0%
	③経営収支比率 90%以下	89.5%	89.7%	89.6%
	④実質公債費比率 12%以下	9.5%	9.8%	11.8%
	⑤広報等による財政状況の公表回数 2回	2回	2回	2回
特記事項等				

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止

第5次福島町総合計画
基本計画（主要施策）の進捗状況

第5章 協働のまちづくり・行財政運営の充実(住民活動・行財政)

6 広域行政

◎関係自治体や団体等との連携を深め、広域的に取り組むことにより、より効率的、効果的に成果が得られるよう努めます。

区分	施策	進捗状況		
		H28実績	H29実績	H30実績
一部事務 組合、 広域連合	①構成する自治体と連携し効率的で効果的な業務を行う	○	○	○
その他の 広域行政	①構成する自治体と連携し広域的な課題の解決に努める	○	○	○
	②松前半島道路の建設促進に向け関係機関と連携し要望活動を行う	○	○	○
	③青函トンネル内の供用区間の高速走行実現、札幌までの早期完成に向け要望活動等を行う	△	△	△
	④H30年度からの国保事業の広域化に向けた対応を進める	○	◎	◎
	⑤新たに広域行政が可能な事業について、近隣町等と連携しながら検討する	△	△	△
目標とする 指標	①共同で行っている事務・事業の件数 19件	19件	19件	20件
特記事項等	○ H30年4月より国保広域化開始			

凡例 ◎実施済み ○実施中 △今後の実施予定 ▼実施困難 ×中止